

乙女高原ファンクラブ 2011年度 活動報告(ダイジェスト版) 2011.3. ~ 2012.2.

こんな1年間でした

1. 1年間で16名の入会者があり、現在、総入会者数は628名です。
2. 活動への参加者数はのべ758人でした(2004年度:811人, 2005:1200人, 2006:1378人, 2007:1344人, 2008:1253人, 2009:1176人, 2010:834人)。
3. 第12回遊歩道作りを予定通り実施。展望台にモミの枯れ木でベンチを作りました。
4. 5~6月に案内人の依田さんを講師に3回のスマレ観察会を初めて行いました。
5. 6月・8月・9月と年3回のマルハナバチ調査を行うのは9年目となりました。
6. 麻布大学高槻研究室と協力し、月1度のシカ柵内外の植物調査を行いました。
7. 牧丘第一・第二・第三小, 塩山高校, 富士急トラベルから活動紹介や高原案内の依頼があり, 案内人が対応しました。
8. 8月に案内人活動として「乙女高原を歩こう」と杭づくりを行いました。
9. 10月にシカの食害等を観察するシカの観察会を初めて行いました。
10. 11月に第12回目となる草刈りボランティアを実施し, 245名が参加。
11. 東京農工大星野研究室・(株)田丸と協力して刈り草を琴川ダム残土処分場に運び込んで草原の再生をめざす「藁撒きプロジェクト」に取り組みました。
12. 第11回乙女高原フォーラムには97名の参加者があり, 「希少昆虫の宝庫 乙女高原の今」をテーマに, 昆虫の学芸員・槐 真史さんのお話を中心に行いました。
13. フォーラムに関連して市民会館ロビーで『ようこそ乙女高原へ』展 を行いました。
14. フィールドガイドの第3弾「乙女高原のスマレ・フィールドガイド」を作成・発行。
15. 次のような助成金をいただきました。山梨市より「乙女高原保護活動事業」補助金(7万円), 赤い羽根共同募金分配金(7万円), 日本山岳遺産基金(11万円), (株)田丸グリーン基金(10万円), 富士ゼロックス端数倶楽部・富士ゼロックス株式会社(10万円), イオン石和店より「幸せの黄色いレシートキャンペーン」(12,900円), アイオイニッセイ(49,458円)。
16. 計10回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催し, 各行事の計画を立てたり, 実施後の反省を行ったりしました。連絡会議では山梨県・山梨市の担当者も交え, 企画を練ったり, 実施後の反省を共有したりしました。
17. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行しました。
18. メールマガジンを年17回配信し, ホームページの情報をこまめに更新しました。
19. 2006年に始めた中型ほ乳類(テン)の糞サンプリング調査を継続しました。
20. 2009年に始めた昆虫相調査を継続しました。
21. 2009年に始めたデータロガーによる気温の計測を継続しました。
22. 遊歩道づくり, 草刈りボランティア, フォーラムは県・市との共催事業でした。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたいと思えます。

1年間のおもな活動の足跡

3/13 2010年度定期総会



牧丘総合会館を会場に行われました。出席20名。委任状111名。世話人改選により新たに10名が世話人に立候補。承認されました。座談会は福島原発事故のため中止しました。

5/8 第12回遊歩道作り



参加者70名。いい天气に恵まれ実行できました。ヨモギ頭のモミの枯れ木を安全に切り倒し、展望台のベンチとしました。

5/8 第1回スミレ観察会



参加者18名。遊歩道作りの午後、乙女高原案内人の依田さんを講師に実施。開花しているスミレは6種類。シロバナヒナスミレを発見しました。

5/21 第2回スミレ観察会



参加者7名。前回と同じく依田さんを講師に実施。開花しているスミレは10種類。スミレの花を食べるいもむしがいました。写真は新発見のシコクスミレ

6/5 第3回スミレ観察会



参加者10名。同じく依田さんを講師に実施。開花しているスミレは5種類。チシオスミレが新たに発見されました。

6/19 他 シカ柵内外植物調査



麻布大学野生動物学研究室の学生さんが高槻成紀先生の指導のもと、シカ柵内外の植物の生育状況を月1回のペースで調査することになり、ファンクラブでも協力しました。

6/26 第9期マルハナバチ調べ隊



参加者12名。ラインセンサス調査のマルハナバチ総計6頭。たくさんのオトシブミのゆりかごも見つかった。

8/7 第9期マルハナバチ調べ隊



参加者20名。ラインセンサスで計35頭のマルハナバチを確認したまではよかったのですが、雨が降り出し、午後の部は中止しました。

8/21 杭づくり



参加案内人15名。雨のため「乙女高原を歩こう」への一般参加者はいませんでした一方、ロッジ裏で協力して60本の杭を手作りしました。来年の遊歩道づくりで使います。

8/26 他 小学校の自然教室で



牧丘町内の全小学校の自然教室講師を乙女高原案内人が受託しました。牧丘第一小(10/7), 第二小(8/30), 第三小(8/26)の子どもたちと乙女高原の自然を楽しみました。

9/11 第9期マムハガチ調べ隊



参加者 17 名。ラインセンサスの結果は計 25 頭でした。天気が崩れそうだったので、午後は急きょ自然観察会に変更し、ブナじいさんまで行きました。ロッジにはキツネの子がうろついていました。

10/23 シカ観察会



参加者 8 名。まず、ホワイトボードにシカについて知っていることを書いてもらい発表。観察ハイキングでシカの食害跡や糞等を観察。最後に、感想や気づきをホワイトボードに書いてもらった分かち合い。

11/23 第12回草刈りボランティア



参加者 245 名。今年も天気と多くの参加者に恵まれ、楽しくボランティア作業ができました。そして、今年も豚汁がとてもおいしかったです。

11/23 キッズボランティア



子どもたちはブナじいさんの根元に落ち葉の布団をかけるキッズボランティアに参加。林道に降った落ち葉を集めて、ブナじいさんの根元に運びました。

11/23 藁撒きプロジェクト



刈った草は(株)田丸さんが提供してくれたごみ収集車で琴川ダムの残土処分場に運び込みました。ここに東京農工大の星野義延先生の指導のもと草原を再生します。

1/9 ~ 1/29 乙女高原展



今年で7回目となる、山梨市民会館ロビーをお借りした展示です。鈴木さんの写真、スマレ・フィールドガイドの見本、昆虫パズルなどを展示しました。

1/29 第11回乙女高原フォーラム



山梨市民会館ちどりの間にて。参加者 97 名。テーマは「希少昆虫の宝庫・乙女高原の今」。ゲストは神奈川在住、昆虫の学芸員 槐 真史さん。

1/29 スマレのガイド完成



編集代表は依田さん。乙女高原の 18 種類のスマレを紹介。

乙女高原ファンクラブまで。乙女高原ファンクラブから。

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。
- 1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。
- 2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。
- 2000.10 「乙女高原の森」連絡会議「乙女高原の森の保全および活用に関する提言」を県に提出。
- 2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。

2001.4 乙女高原ファンクラブ発足

発足記念映画会 吉永小百合『明日は咲こう花咲こう』

- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新遊歩道開設。
- 2001.11 乙女高原ファンクラブ公式ホームページ公開開始。
- 2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方
- 2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）
- 2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（03,04,05,08の4期）
- 2003.6 イタドリ刈り取り実験用コドラート設置
- 2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。（毎年3回）
- 2003.10 乙女高原で8月にマーキングされたアサギマダラが愛知県田原市衣笠山で再捕獲
- 2003.10 土壌観察会（筑波大学土壌環境化学研究室と共催）
- 2003.11 第4回乙女高原の草原を守る！で、キッズボランティア開始
- 2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞
- 2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）
- 2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）
- 2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）
- 2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出
- 2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
- 2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催（以後、毎年）
- 2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート
- 2006.9 コカ・コーラ環境教育財団より環境教育賞主催者賞をいただく。
- 2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。
- 2007.3 石和サティの「しあわせの黄色いレシートキャンペーン」に参加。
- 2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイド 『マルハナバチ』を作成。
- 2007.10 乙女高原案内人勉強会スペシャルツアーとして霧ヶ峰のインタープリテーションを体験。
- 2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）
- 2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイド 『お花たち』を改訂増刷
- 2009.6 **新事業**・乙女高原の昆虫相調査スタート
- 2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選
- 2009.11 第10回草刈りを記念し、多大な貢献のあった10団体に感謝状と記念品贈呈
- 2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート
- 2010.5 **新事業**・草原2箇所、湿地1箇所、計3箇所にシカ柵設置。以後、モニタリングを行う。
- 2010.11 乙女高原が山と渓谷社・日本山岳遺産基金による「日本山岳遺産」に認定される。
- 2011.5-6 3回のスマイレ観察会を実施。
- 2011.6 麻布大学高槻研究室のシカ柵内外の植物調査に協力。
- 2011.11 東京農工大星野研究室・(株)田丸の協力で藁撒きプロジェクト(刈り草を残土処分場へ)を実施。
- 2012.1 乙女高原フィールドガイド 『スマイレ』を発行。

乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp
ウェブページ <http://fruits.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号) 00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ